

精神医療等の実施状況調査(その2) 報告書(案) <概要>

調査の概要①

1 調査の目的

- 令和2年度診療報酬改定において、地域移行・地域生活支援の充実を含む質の高い精神医療を評価する観点から、退院時共同指導に係る評価の新設、多職種による相談支援・指導に対する評価の新設、精神科在宅患者支援管理料に係る要件の見直し等が行われた。また、外来患者に対する精神医療については、多職種による相談支援・指導について評価の新設等が行われた。
- 本調査では、改定に係る影響や、関連した取組の実施状況等について調査・検証を行うことを目的とする。

2 調査の対象

本調査では、「病院票」「診療所票」および「患者票」の3つの調査を実施した。各調査の対象(抽出方法)は、次のとおりであった。

調査の種類	調査対象		
	条件	調査件数	抽出方法
病院票	精神科救急入院料、精神科急性期治療病棟入院料、精神科救急・合併症入院料のいずれかを届出している病院	496施設	悉皆
診療所票	精神科退院時共同指導料、精神科在宅患者支援管理料、精神科デイ・ケア等※のいずれかを届け出している診療所	500施設	無作為
患者票	診療所票の対象施設にて診療している在宅患者のうち、以下の条件に該当する方を1施設につき最大6名 ①精神科退院時共同指導料の算定患者 2名 ②精神科デイ・ケア等※の算定患者 2名 ③精神科訪問看護・指導料の算定患者 2名	(最大)3,000名	診療所から各6名

※精神科ショート・ケア、精神科デイ・ケア、精神科ナイト・ケア、精神科デイ・ナイト・ケア

調査の概要②

3 調査方法

- 本調査は、調査票一式を調査対象施設に郵送し実施した。回答は、紙媒体（IDを印字した調査票）への記入後、郵送返送する方法と、回答者の負担軽減のため、専用ホームページより電子調査票をダウンロードし、入力の上、メールへの添付により返送する方法から選択できるようにした。
- 病院票・診療所票は自記式アンケート調査方式により実施し、調査対象施設の開設者・管理者または開設者・管理者が依頼した方に回答を求めた。患者票は、対象患者の状況を把握している診療所担当者に回答を求めた。
- 調査実施時期は令和3年8月から9月

4 回収の状況

各調査票の回収結果は以下のとおりであった。

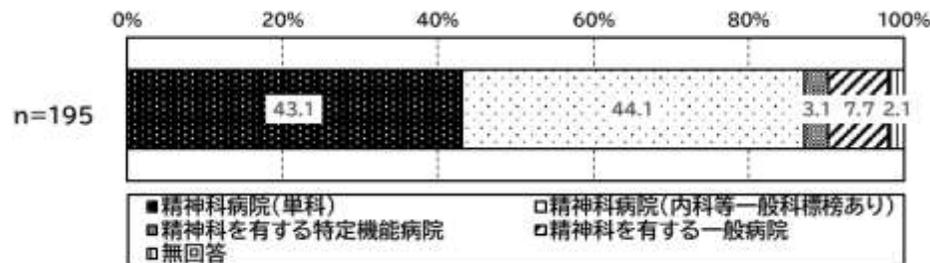
	発送数	有効回収数	有効回収率
病院票	496件	195件	39.3%
診療所票	500件	221件	44.2%
患者票	—	514件	—

施設調査(病院票)の結果①

＜施設の概要＞(報告書p12,14)

図表 2-4 病院種別

回答病院の病院種別をみると、「精神科病院(単科)」が43.1%、「精神科病院(内科等一般科標榜あり)」44.1%、「精神科を有する特定機能病院」3.1%、「精神科を有する一般病院」7.7%であった。



図表 2-9 届出を行っている入院基本料 (病棟数)

回答病院の入院基本料等の届出状況(病棟数)は、右表のとおりであった。

	n数	平均値 (棟)	標準偏差	中央値
精神病棟入院基本料	127	9.6	48.9	2
特定機能病院入院基本料(精神病棟)	3	1.3	0.6	1
精神科救急入院料	81	3.8	12.2	1
精神科急性期治療病棟入院料	130	2.9	9.6	1
精神科救急・合併症入院料	7	1	0	1
児童・思春期精神科入院医療管理料	13	1	0	1
精神療養病棟入院料	113	5.8	20.4	2
認知症治療病棟入院料	69	3.3	9.9	1
地域移行機能強化病棟入院料	8	1	0	1

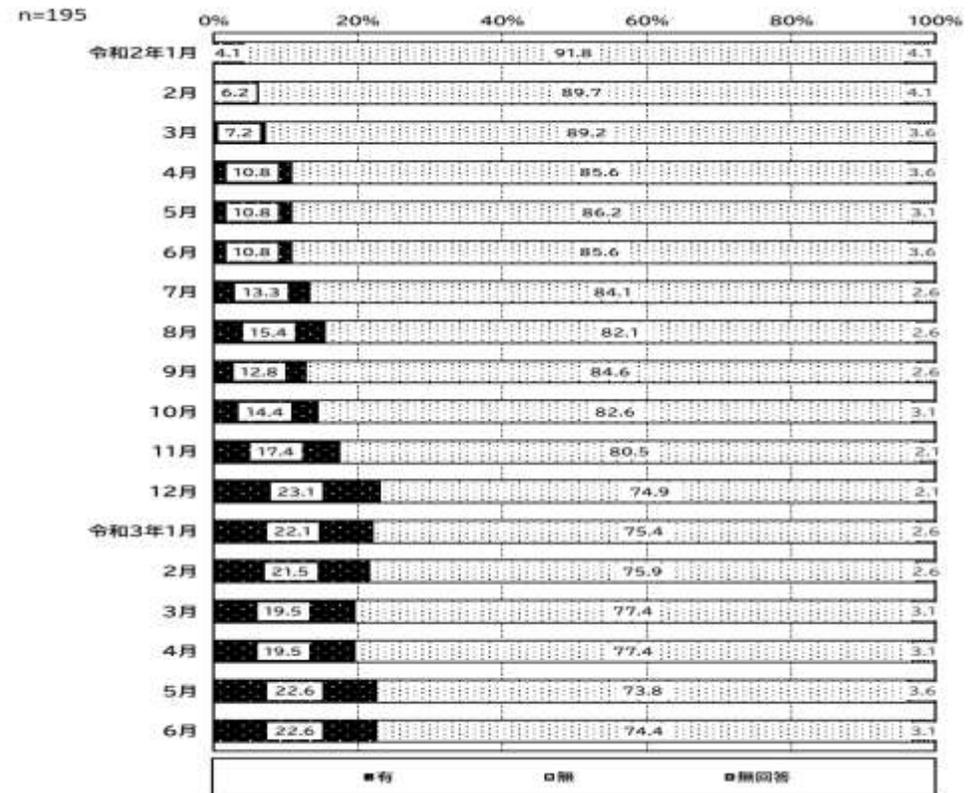
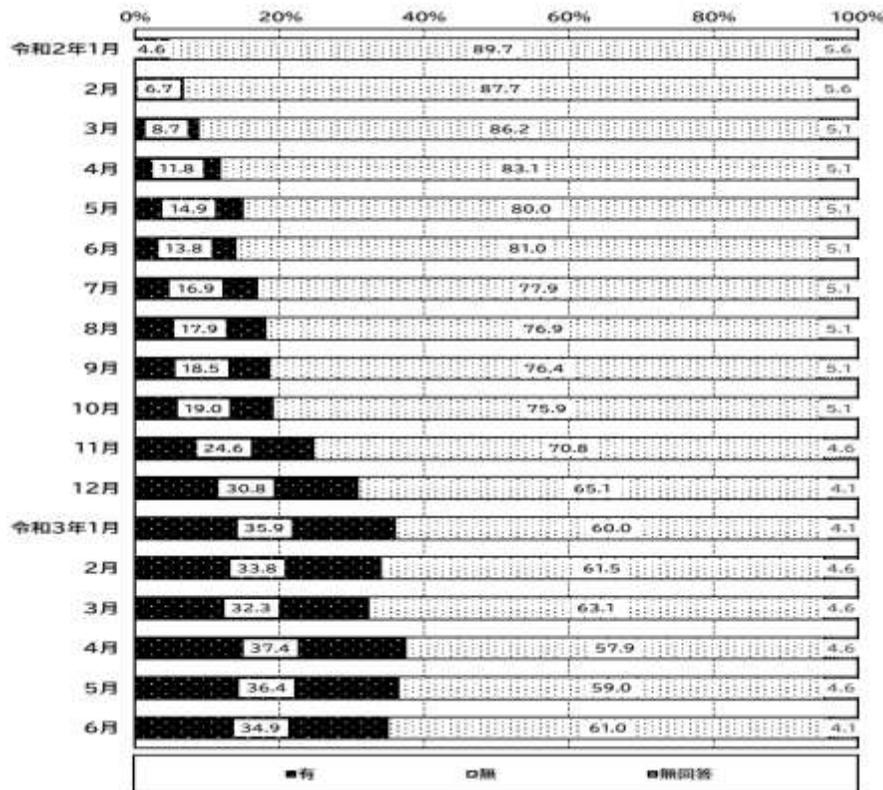
施設調査(病院票)の結果②

<令和2年1月以降の受診者や体制の動向等(新型コロナウイルス感染疑いの外来・入院患者受入の有無)>(報告書p36,38)

令和2年1月から令和3年6月の新型コロナウイルス感染疑いの外来患者(新型コロナウイルス感染症の検査対象となった患者を指す。結果的に新型コロナ感染者と診断されなかった患者も含む。)及び入院患者(新型コロナウイルス感染症の疑似症と診断された患者を含む。)の受入の有無は、以下のとおりであった。

図表 2-34 新型コロナウイルス感染症疑いの外来患者受入の有無

図表 2-36 新型コロナウイルス感染患者の入院患者の受入れの有無

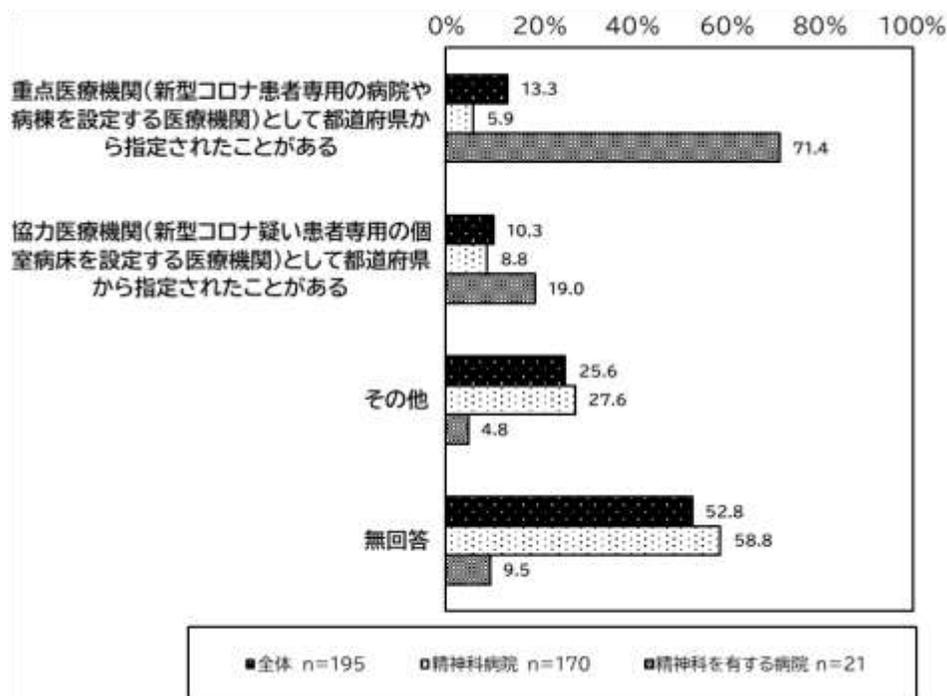


施設調査(病院票)の結果③

＜新型コロナウイルス感染症の重点医療機関等の指定の有無＞(報告書p53)

令和2年1月から令和3年6月の期間における新型コロナウイルス感染症の重点医療機関等の指定の有無について、該当状況は次のとおりであった。

図表 2-51 新型コロナウイルス感染の重点医療機関等の指定の有無(複数回答)(病院種別)

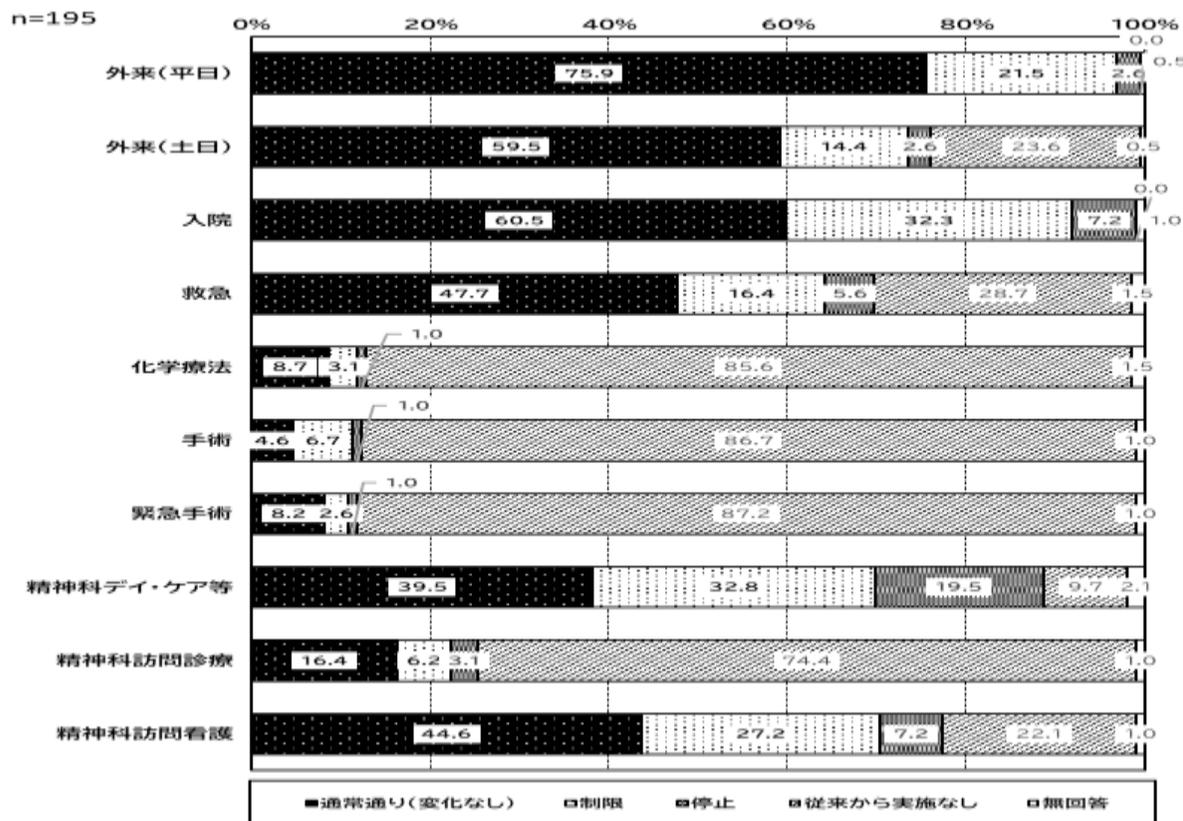


施設調査(病院票)の結果④

＜令和2年1月から令和3年6月までの間の医療提供状況の変化＞(報告書p62)

令和2年1月から令和3年6月の間に一度でも、医療提供状況に変化があったか尋ねたところ、その結果は以下のとおりであった。

図表 2-61 医療提供状況の変化

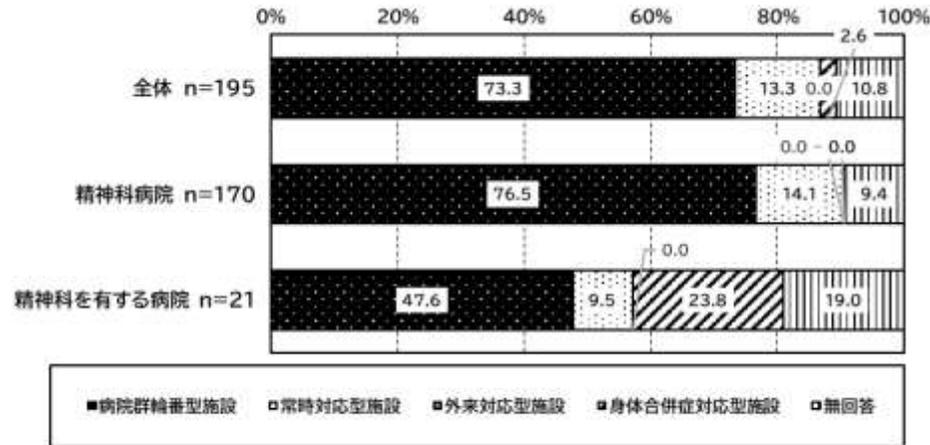


施設調査(病院票)の結果⑤

＜精神科救急医療体制整備事業への参加有無＞(報告書p21)

精神科救急医療体制整備事業に「参加している」場合の種別は、精神科病院、精神科を有する病院ともに、「病院群輪番型施設」がそれぞれ76.5%、47.6%で最も多かった。

図表 2-23 参加している場合の種別(病院種別)



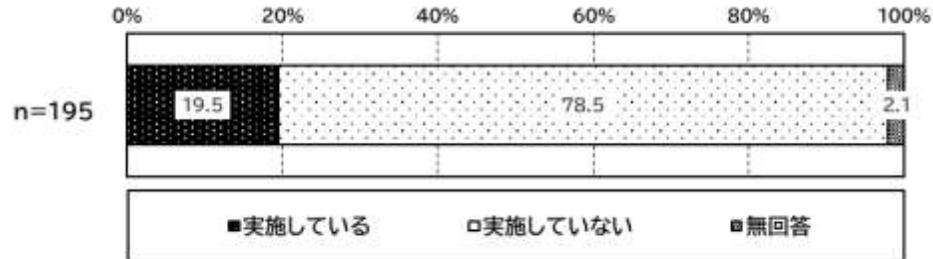
施設調査(病院票)の結果⑥

＜在宅医療＞(報告書p74,77,81)

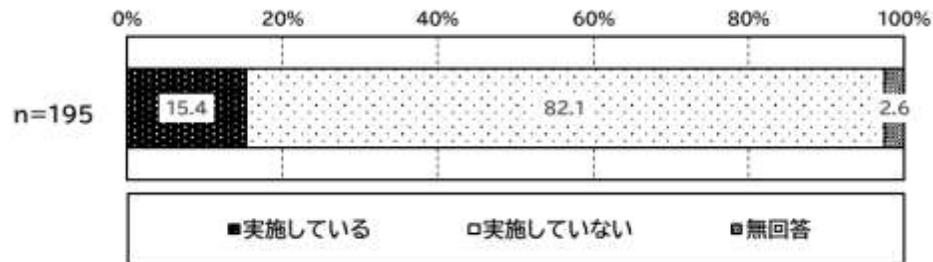
精神科在宅患者の往診、訪問診療の実施状況についてみると、以下のとおりであった。

精神科在宅患者支援管理料の施設基準の届出をみると、以下のとおりであった。

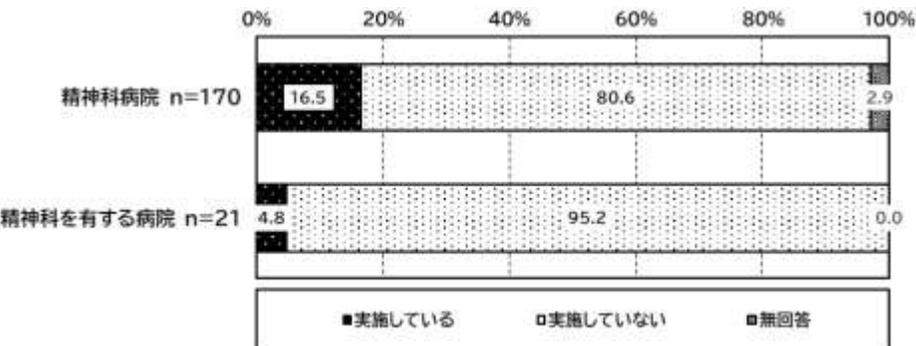
図表 2-81 精神科在宅患者の往診の有無



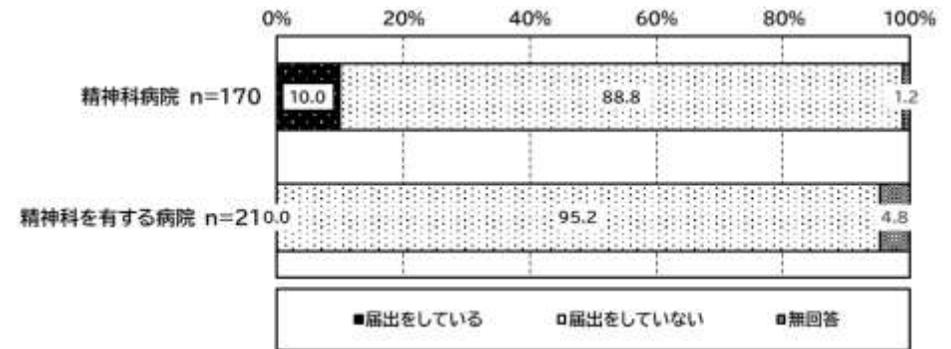
図表 2-87 精神科在宅患者の訪問診療の有無



図表 2-88 精神科在宅患者の訪問診療の有無 (病院種別)



図表 2-96 精神科在宅患者支援管理料の施設基準の届出 (病院種別)

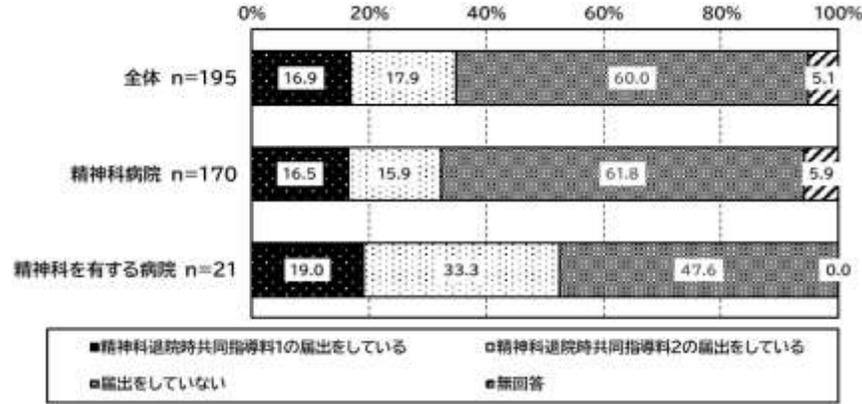


施設調査(病院票)の結果⑦

＜精神科退院時共同指導料等の届出状況＞(報告書p64～66)

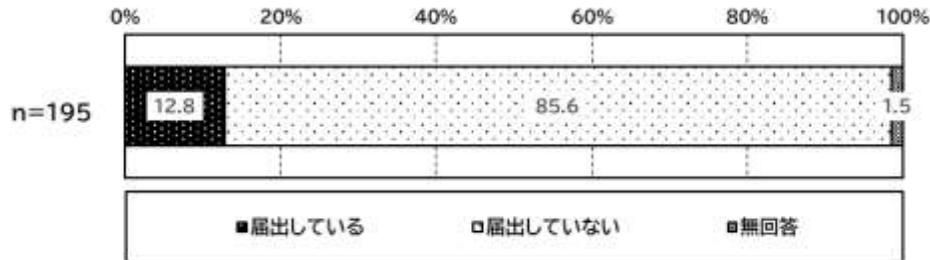
精神科退院時共同指導料の届出状況についてみると、以下のとおりであった。

図表 2-64 精神科退院時共同指導料の届出状況 (病院種別)

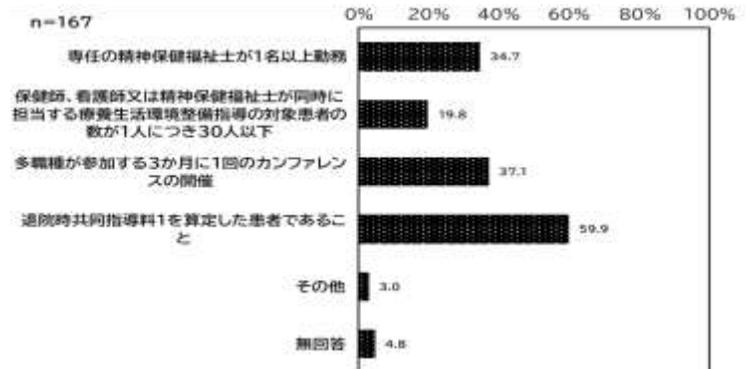


回答病院のうち、療養生活環境整備指導加算の施設基準の「届出している」施設は、全体の12.8%であった。届出をしていない理由として、満たすことが難しい要件として最も多かったものは「退院時共同指導料1を算定した患者であること」が59.9%であった。

図表 2-66 療養生活環境整備指導加算の届出状況



図表 2-68 施設基準等のうち満たすことが難しいもの(複数回答)

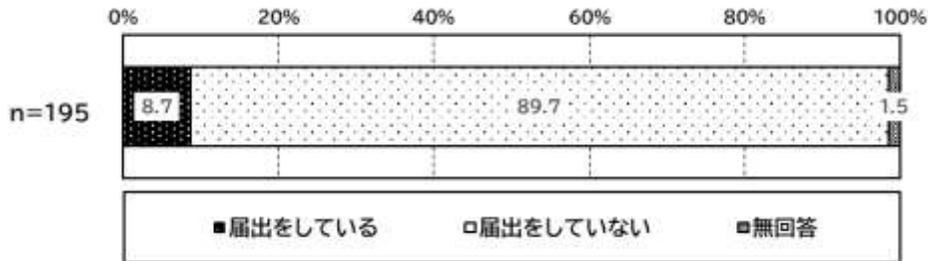


施設調査(病院票)の結果⑧

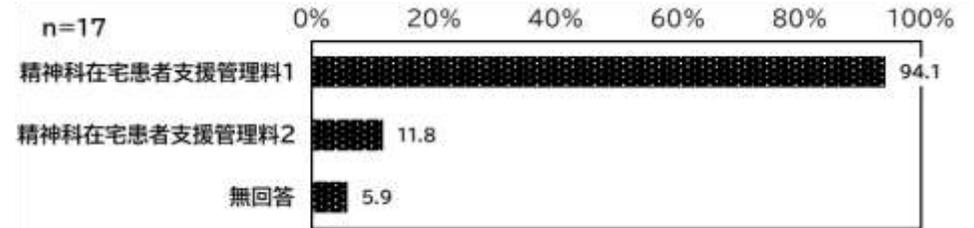
<精神科在宅患者支援管理料①>(報告書p81,82)

回答病院のうち、精神科在宅患者支援管理料の施設基準の「届出をしていない」施設が、全体の89.7%であった。

図表 2-95 精神科在宅患者支援管理料の施設基準の届出

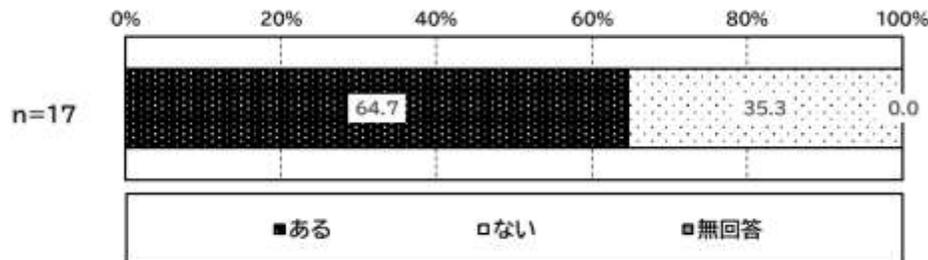


図表 2-97 届出の種類(複数回答)



精神科在宅患者支援管理料の施設基準の届出をしていると回答した施設において、連携する訪問看護ステーションがあると回答した施設は64.7%であった。

図表 2-98 精神科在宅患者支援管理料に基づく医学管理を実施する上で、連携する訪問看護ステーションの有無



※「ある」と回答した11件のうち、連携先について「特別の関係にあるもの」が81.8%、「それ以外」が18.2%であった。

施設調査(病院票)の結果⑨

<精神科在宅患者支援管理料②>(報告書p85)

令和3年6月における精神科在宅患者支援管理料の算定件数は、以下のとおりであった。

図表 2-103 精神科在宅患者支援管理料の算定件数(令和3年6月)(算定区分別)

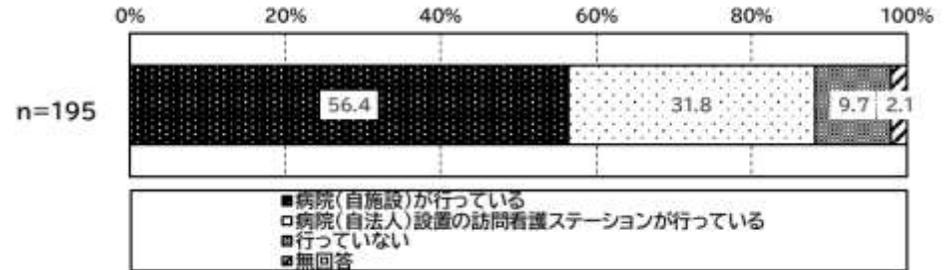
	n数	平均値 (件)	標準 偏差	中央値
精神科在宅患者支援管理料1	7	1.3	1.7	1
重症患者等のうち、集中的な支援を必要とする患者 (1)単一建物診療患者1人	7	0.1	0.3	0
重症患者等のうち、集中的な支援を必要とする患者 (2)単一建物診療患者2人以上	7	0.3	0.7	0
重症患者等 (1)単一建物診療患者1人	7	2.4	3.9	0
重症患者等 (2)単一建物診療患者2人以上	7	0.3	0.7	0
精神科在宅患者支援管理料2	7	0	0	0
重症患者等のうち、集中的な支援を必要とする患者 (1)単一建物診療患者1人	7	0	0	0
重症患者等のうち、集中的な支援を必要とする患者 (2)単一建物診療患者2人以上	7	0	0	0
重症患者等 (1)単一建物診療患者1人	7	0	0	0
重症患者等 (2)単一建物診療患者2人以上	7	0	0	0
精神科在宅患者支援管理料3	7	1.4	2.4	0
単一建物診療患者1人	7	16	36.3	1
単一建物診療患者2人以上	7	2.4	3.9	0

施設調査(病院票)の結果⑩

＜精神科訪問看護の状況＞(報告書p90,91)

回答病院の精神科訪問看護の実施状況は右図のとおりであった。

図表 2-113 精神科訪問看護の実施の有無



図表 2-114 精神科訪問看護に携わる職員数(常勤換算)

	n数	平均値 (人)	標準偏差	中央値
保健師・看護師	102	4.6	4.2	4.0
准看護師	102	0.2	0.5	0.0
作業療法士	102	0.4	0.7	0.0
精神保健福祉士	102	1.3	1.9	1.0
その他	102	0.1	0.3	0.0
合計	102	6.6	5.1	5.0

図表 2-115 精神科訪問看護を実施した患者数(実人数)(令和3年6月)

	n数	平均値 (人)	標準偏差	中央値
精神科訪問看護を実施した患者数	105	83.2	81.6	69.0
うち身体疾患を有する患者数	105	18.8	30.5	0.0
他の精神科療法を行った患者数	105	34.3	56.9	4.0

精神科訪問看護を行っている施設における精神科訪問看護に携わる職員数(常勤換算)、精神科訪問看護を行っている施設における令和3年6月1か月間に精神科訪問看護を実施した患者数(実人数)は左図のとおりであった。

施設調査(病院票)の結果⑪

＜訪問看護に従事する精神科認定看護師等の人数(実人数)＞(報告書p93,94)

訪問看護に従事する精神科認定看護師等の人数は、以下のとおりであった。

図表 2-119 訪問看護に従事する精神科認定看護師等の人数(実人数)
(1人以上の回答があった施設を対象に集計)

	n数	平均値 (人)	標準偏差	中央値
精神科認定看護師 (日本精神科看護協会)	16	1.5	0.6	1
「精神看護」の専門看護師 (日本看護協会)	2	1	0	1
「認知症看護」の認定看護師 (日本看護協会)	2	1	0	1

令和3年6月1か月間の精神科認定看護師等による精神科訪問看護の実施状況は以下のとおりであった。

図表 2-120 精神科認定看護師等による精神科訪問看護の実施状況(令和3年6月)

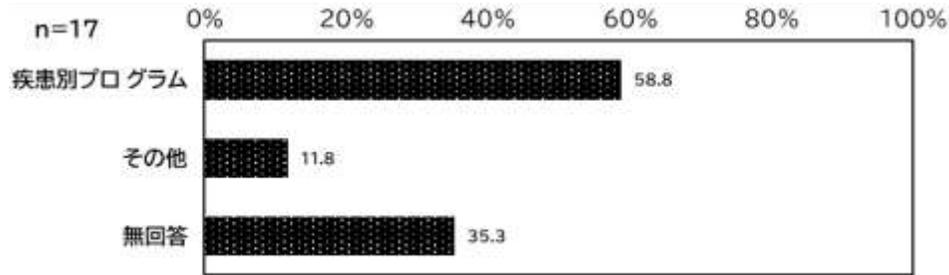
	n数	平均値 (人)	標準偏差	中央値
精神科訪問看護の実施回数	16	27.4	51.7	3.5
訪問看護ステーションや他医療機関との同行訪問回数	16	0	0	0
訪問看護ステーションや他医療機関へのコンサルテーションの実施回数	16	0.1	0.2	0
うち訪問看護ステーション又は他医療機関へ出向いて実施	16	0	0	0
うち自施設で実施	16	0.1	0.2	0
うちICTを活用して実施	ビデオ通話	16	0	0
	電話	16	0.1	0.2
	メール等	16	0	0
うち上記以外の方法で実施	16	0	0	0

施設調査(病院票)の結果⑫

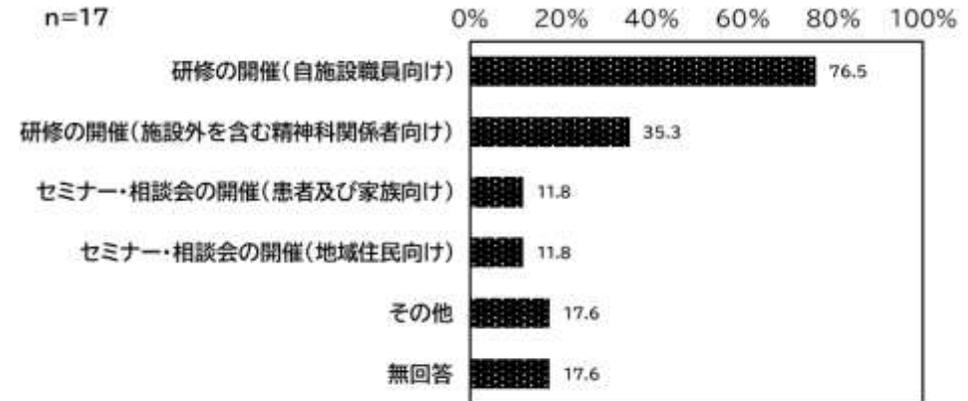
＜精神科認定看護師等が実施したケアの内容等＞(報告書p95,96)

令和3年6月1か月間の精神科認定看護師等による精神科訪問看護における、精神科認定看護師等が実施したケアの内容についてみると、以下のとおりであった。

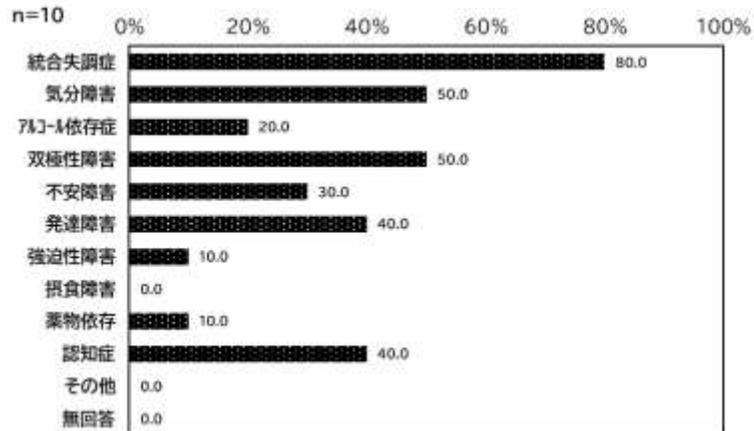
図表 2-121 精神科認定看護師等が実施したケアの内容(複数回答)



図表 2-123 その他精神科認定看護師等による活動(複数回答)



図表 2-122 疾患別プログラムの内訳(複数回答)

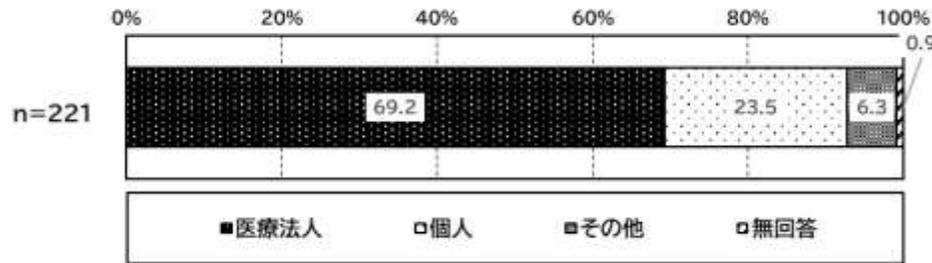


施設調査(診療所票)の結果①

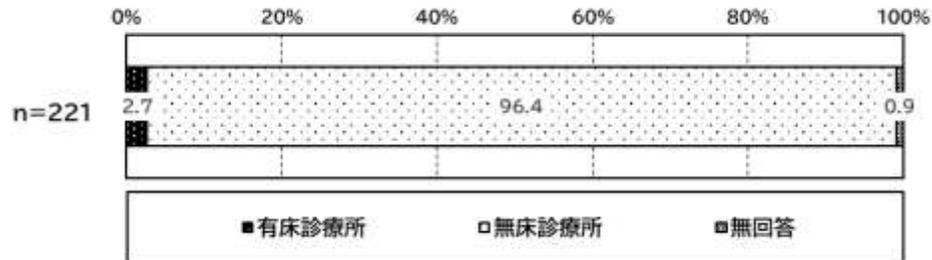
＜施設の概要＞(報告書p105)

開設者は、「医療法人」の割合が69.2%で最も高く、次いで「個人」が23.5%であった。また、種別は、「有床診療所」が2.7%、「無床診療所」が96.4%であった。

図表 3-2 開設者



図表 3-3 診療所の種別



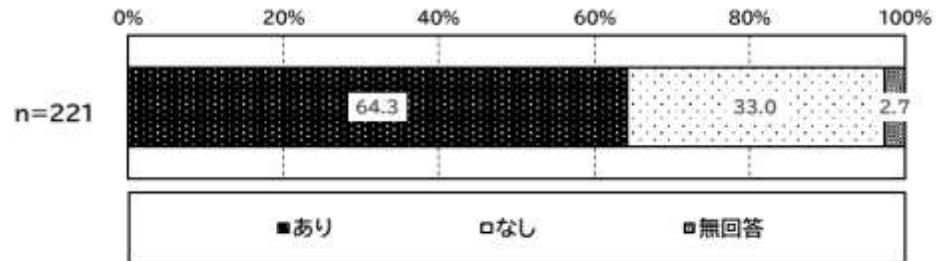
※有床診療所における平均病床数(合計):19.0床

施設調査(診療所票)の結果②

<医科外来等感染症対策実施加算>(報告書p115)

医科外来等感染症対策実施加算の算定をしている診療所は、以下のとおりであった。

図表 3-15 「医科外来等感染症対策実施加算」の算定有無

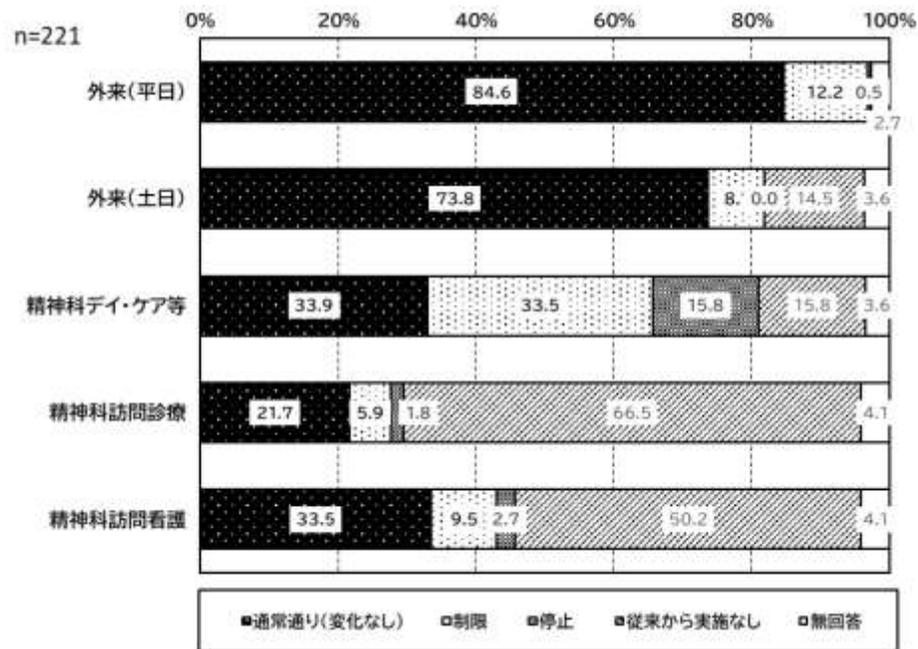


施設調査(診療所票)の結果③

＜医療提供状況の変化＞(報告書p116)

令和2年1月から令和3年6月の間に一度でも、医療提供状況に変化があったか尋ねたところ、結果は以下のとおりであった。

図表 3-16 医療提供状況の変化

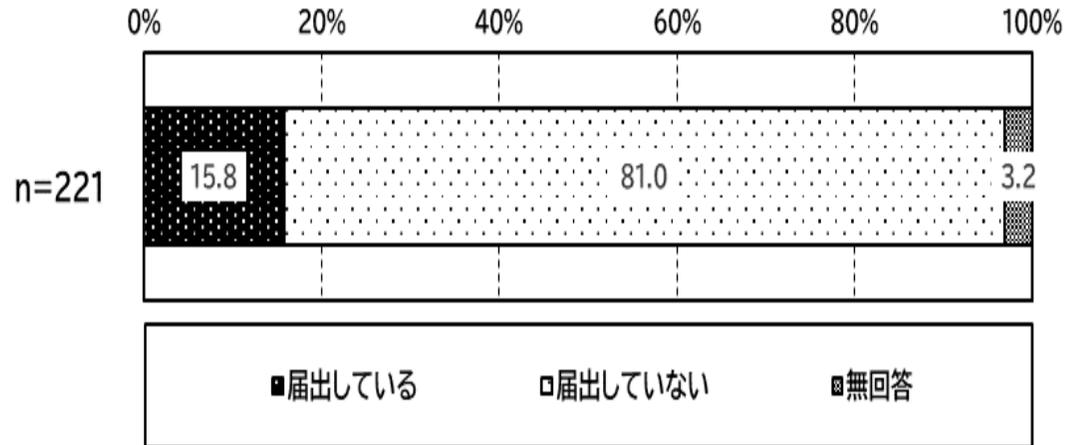


施設調査(診療所票)の結果④

＜療養生活環境整備指導加算の届出状況＞(報告書p119)

療養生活環境整備指導加算の届出状況についてみると、「届出していない」が81.0%であった。

図表 3-20 療養生活環境整備指導加算の届出状況



施設調査(診療所票)の結果⑤

＜精神科訪問看護の状況＞(報告書p144,145)

回答診療所の精神科訪問看護の実施状況は右図のとおりであった。

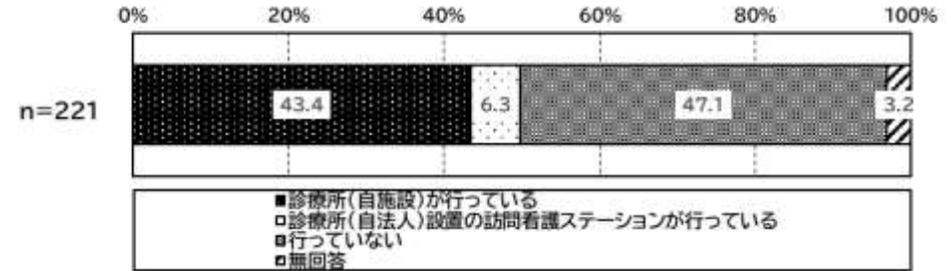
図表 3-67 精神科訪問看護に携わる職員数(常勤換算)

	n数	平均値 (人)	標準偏差	中央値
保健師・看護師	96	1.7	2.1	1
准看護師	96	0.2	0.5	0
作業療法士	96	0.2	0.5	0
精神保健福祉士	96	1.5	1.5	1
その他	96	0	0.1	0
合計	96	3.5	3.4	2.8

図表 3-68 精神科訪問看護を実施した患者数(実人数)(令和3年6月)

	n数	平均値 (人)	標準偏差	中央値
精神科訪問看護を実施した患者数	93	26.2	30.9	16
うち身体疾患を有する患者数	93	5.2	16.7	0
他の精神科療法を行った患者数	93	16.9	28	5

図表 3-66 精神科訪問看護の実施の有無



精神科訪問看護を行っている施設における精神科訪問看護に携わる職員数(常勤換算)、精神科訪問看護を行っている施設における令和3年6月1か月間に精神科訪問看護を実施した患者数(実人数)は左図のとおりであった。

施設調査(診療所票)の結果⑥

＜訪問看護に従事する精神科認定看護師等の人数(実人数)＞(報告書p147,148)

訪問看護に従事する精神科認定看護師等の人数は、以下のとおりであった。

図表 3-72 訪問看護に従事する精神科認定看護師等の人数(実人数)
(1人以上の回答があった施設を対象に集計)

	n数	平均値 (人)	標準偏差	中央値
精神科認定看護師 (日本精神科看護協会)	2	1.0	0.0	1.0
「精神看護」の専門看護師 (日本看護協会)	0	-	-	-
「認知症看護」の認定看護師 (日本看護協会)	0	-	-	-

令和3年6月1か月間の精神科認定看護師等による精神科訪問看護の実施状況は以下のとおりであった。

図表 3-73 精神科認定看護師等による精神科訪問看護の実施状況(令和3年6月)

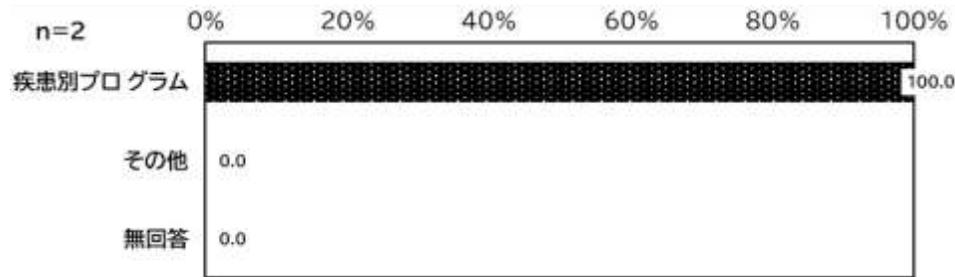
	n数	平均値 (人)	標準偏差	中央値
精神科訪問看護の実施回数	2	37	21	37
訪問看護ステーションや他医療機関との同行訪問回数	2	0	0	0
訪問看護ステーションや他医療機関へのコンサルテーションの実施回数	2	0	0	0
うち訪問看護ステーション又は他医療機関へ出向いて実施	-	-	-	-
うち自施設で実施	-	-	-	-
うちICTを活用して実施	ビデオ通話	-	-	-
	電話	-	-	-
	メール等	-	-	-
うち上記以外の方法で実施	-	-	-	-

施設調査(診療所票)の結果⑦

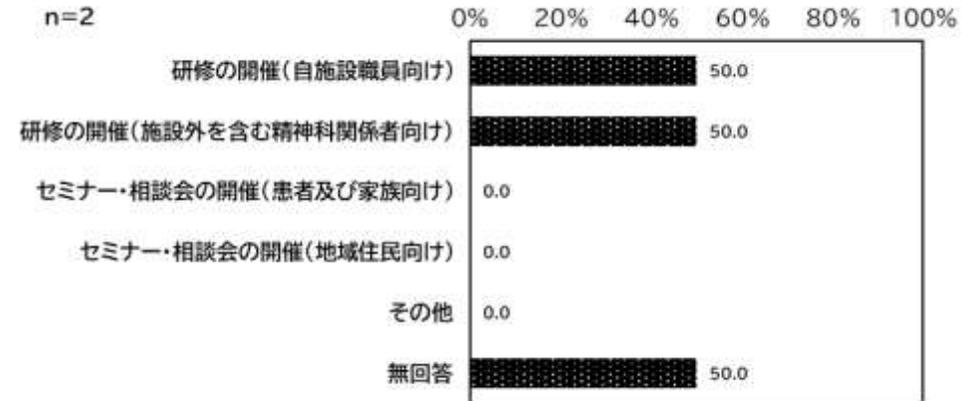
＜精神科認定看護師等が実施したケアの内容等＞(報告書p149,150)

令和3年6月1か月間の精神科認定看護師等による精神科訪問看護における、精神科認定看護師等が実施したケアの内容についてみると、以下のとおりであった。

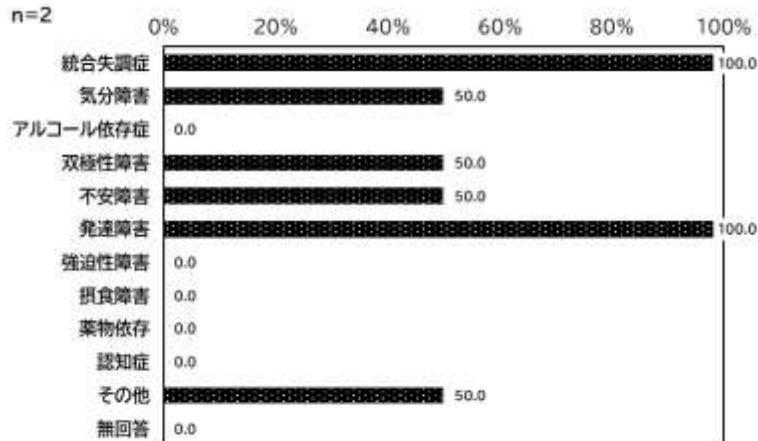
図表 3-74 精神科認定看護師等が実施したケアの内容(複数回答)



図表 3-76 その他精神科認定看護師等による活動(複数回答)



図表 3-75 疾患別プログラムの内訳(複数回答)

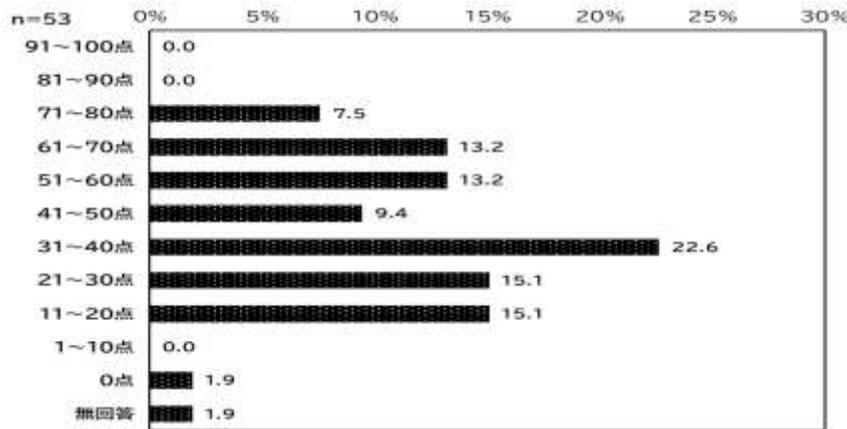


患者票の結果①

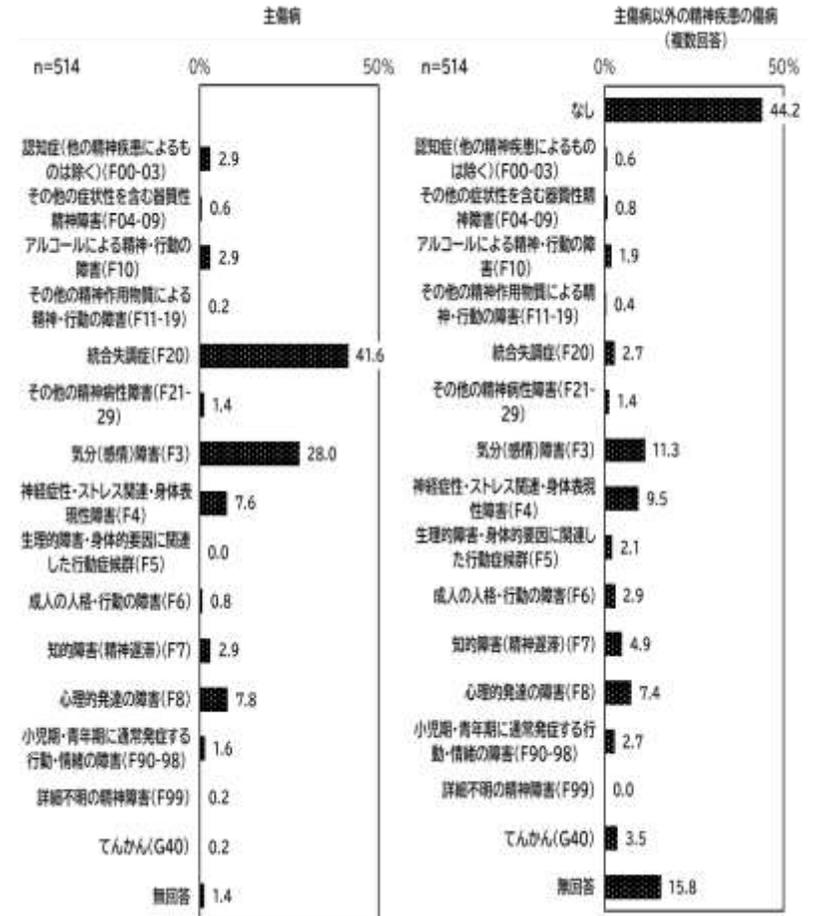
＜直近の入院時における患者のGAF尺度等＞（報告書p162,163）

直近の入院時における主傷病等の状況及び患者のGAF尺度の状況は以下のとおりであった。

図表 4-12 直近の入院時における患者のGAF尺度



図表 4-13 主傷病及び主傷病以外の精神疾患の傷病

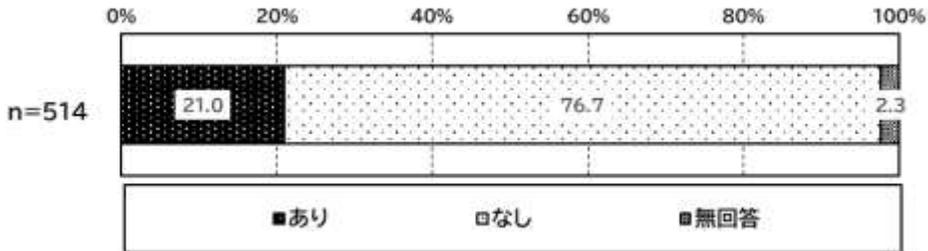


患者票の結果②

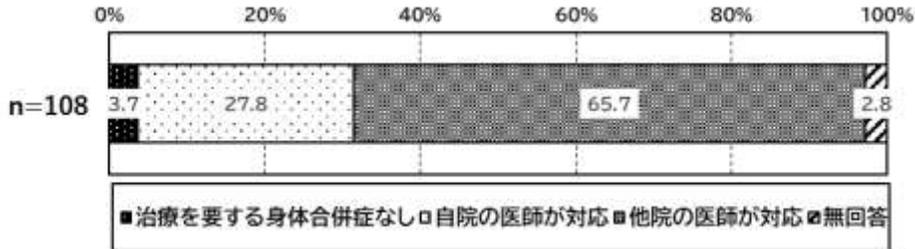
＜身体合併症の有無等＞（報告書p164～166）

身体合併症についての状況は、以下のとおりであった。

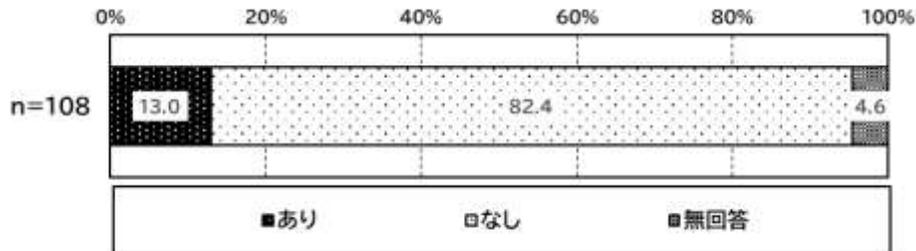
図表 4-14 身体合併症の有無



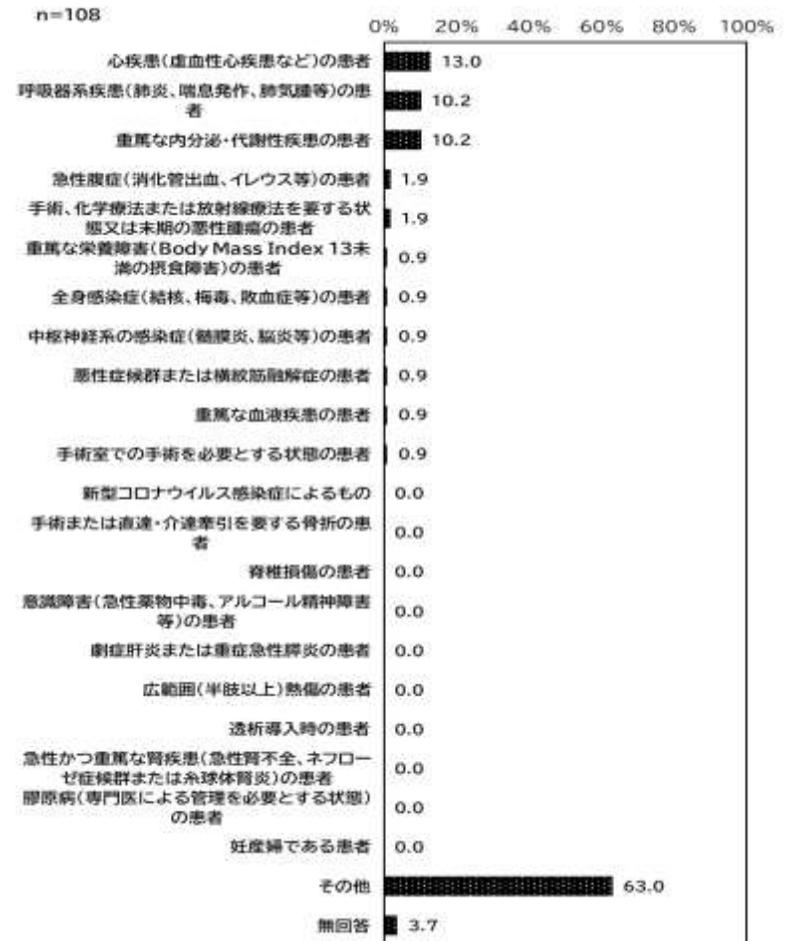
図表 4-16 身体合併症に対する主な対応状況



図表 4-17 リハビリテーション(医療)の有無



図表 4-15 身体合併症の種類（複数回答）



患者票の結果③

＜包括支援マネジメント導入基準への該当状況＞（報告書p168）

該当する包括支援マネジメント導入基準は、「自分1人で地域生活に必要な課題（栄養・衛生・金銭・安全・人間関係・書類等の管理・移動等）を遂行することに重大な問題がある（家族が過剰に負担している場合を含む）」の割合が46.7%で最も高く、次いで「6か月間継続して社会的役割（就労・就学・通所、家事労働を中心的に担う）を遂行することに重大な問題がある」が43.2%であった。

図表 4-20 包括的支援マネジメント導入基準への該当状況（複数回答）

